

青森県の東部に位置する小川原湖は、我が国の代表的な汽水湖の一つであり、太平洋から流入する塩水と流入河川からの淡水とのバランスにより汽水環境が形成されています。小川原湖一帯は、我が国で唯一の汽水性マリモの生息やオオセツカの世界最大繁殖地など、貴重かつ多様な動植物の生息域ともなっています。また、小川原湖は地元から「宝の湖」と称されており、全国第2位の内水面漁業などの産業、観光やレクリエーション等、地域社会・経済の基盤を形成しています。今年度からは、河川環境整備事業により地域が一体となって「観光による地域活性化」も進められています。

しかし、近年では、栄養塩増加、塩淡水境界面上昇、底質のヘドロ化など、湖内環境が大きく変化しています。貧酸素塊の這い上がりやプランクトンの異常発生に伴う、シジミの大量へい死・口開け、ワカサギ・シラウオの成長不良など、水質障害が発生し、漁獲量も減少傾向にあります。現在、小川原湖のT-N濃度は富栄養湖レベルに達しており、流入湖である姉沼や内沼では、ほぼ毎年アオコの発生が報告されるなど、生態系全体への影

響も懸念されています。また、水質の悪い湖へは来訪者が減少するのではないかと危惧もあります。このままでは水質悪化が進行してしまった多くの湖沼のように、その対策に莫大な費用と時間がかかることが予測されます。

その対策として、小川原湖では、水質監視・将来予測システムを構築し、初期症状の段階から効果的な対策工を実施することにより、最小限の予算で最大限の効果を発揮させる取り組みを計画しました。今後は、平成19年に設立した「小川原湖・高瀬川流域水環境ネットワーク」等と連携して流域の方々への情報提供を行うとともに、県・流域自治体・漁業関係者・地域住民等が一体となって「小川原湖の恵み」を後世に引き継ぐ施策を展開する予定です。



松川正彦
国土交通省東北地方整備局
河川部河川環境課長

小川原湖と八甲田連峰

Information & news

ARRCと読者を結ぶ広場

公開実験を開催しました

石礫の間隙と魚類の生息に関する公開実験が開催されました。大小異なるサイズの礫をそれぞれ数珠状にワイヤーで連結して実験河川に沈め、実験日に重機で礫を吊上げることで、間隙に生息する魚介類を一網打尽に捕獲しました。



実験河川ガイドウォークがはじまりました

実験河川ガイドウォークは、携帯情報端末iPodを使って実験河川を見学します。iPodには実験の様子等を紹介する短編映像が入っています。研究棟の開館日(平日の9:30-17:00)に無料で貸し出ししています。混雑時はお貸しできない事もございます。下記の方法でご予約もできますのでご利用ください。



iPodはApple Inc.の商標です



独立行政法人 土木研究所
自然共生研究センター
AQUA RESTORATION RESEARCH CENTER
Incorporated Administrative Agency Public Works Research Institute

〒501-6021 岐阜県各務原市川島笠田町官有地無番地
Tel 0586-89-6036 Fax 0586-89-6039

視察・見学のご案内

自然共生研究センターは、どなたでもご自由に視察・見学することが出来ます。皆さん、ぜひお越しください。

視察・見学をご希望の場合 所定の申込書で受付致しますので、下記のいずれかの方法でお申し込みください。

電話ご利用の場合
その折、申込の方法についてご案内します。

Tel 0586-89-6036

インターネットご利用の場合
ホームページの申込書をご利用ください。

URL <http://www.pwri.go.jp/team/kyousei/jpn/index.htm>

メールご利用の場合
申込書を添付・送信いたします。

E-mail: kyousei4@pwri.go.jp

技術相談 受付中

自然共生研究センターでは、河川環境の保全・復元に関する技術相談を随時受け付けています。

技術相談可能なカテゴリー例は以下の通りです。

多自然川づくりに関する技術相談

自然再生事業に関する技術相談

正常流量に関する技術相談

ダム下流域の生態系評価に関する技術相談

机上での相談だけでなく現場での対応も可能な場合がありますので、ご相談ください。

自然共生研究センターの英訳は、Aqua Restoration Research Center 略してARRC。この略称の発音が期せずして Noah's ark(ノアの方舟)と同じになった。

交通のご案内

自動車をご利用の場合

東海北陸自動車道岐阜各務原ICより10分
(研究棟へは河川環境楽園・西口駐車場が便利です)
川島PAより徒歩で来ることが出来ます。

電車をご利用の場合

名鉄名古屋駅または名鉄岐阜駅から笠松駅へ
笠松駅からタクシーで10分
(笠松駅からの交通はタクシーのみです)



ARRC NEWS No.10 2008年3月

発行：独立行政法人 土木研究所 自然共生研究センター
編集：真田誠至 土手塚陽子



古紙配合率100%
再生紙を使用しています。